

第12期短期講座「日本伝統芸能と音楽の世界」：北見先生の第4回講義レポート

第4回講義は7月10日（水）おにクル7階 第2教室で行われた。

第4回能の大衆化～江戸幕府と諸大名の没落

「能」は14～15世紀に発達し、江戸時代中期にはほぼ様式の完成を見る。能の歴史を見ながら各時代の発展の様子を考察して、明治期以降の皇室との関連にも触れた。

能の歴史を概観し、その時代の主要な人物・役者の姿を興味深く聴くことができた。

次回は9月11日。



午後からはクラス活動として教室で DVD の鑑賞をする事にした。北見先生にお願いした、いくつかの DVD の中から受講生に選んでもらった。スーパー狂言「ムツゴロウ」を鑑賞する事になった。

国立能楽堂委嘱作品

スーパー狂言「ムツゴロウ」

（平成14年5月24日札幌メディアパーク・スピカ公演ライブ）

原作＝梅原 猛

演出＝茂山千乃承・大槻文蔵

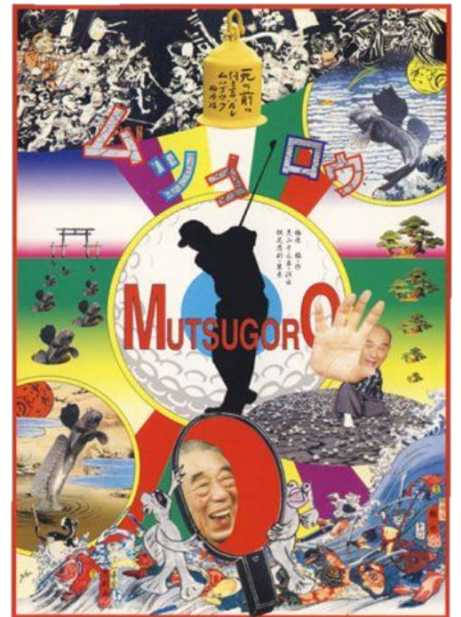
装束・ポスターデザイン＝横尾忠則

出演＝狂言方大蔵流／茂山千作（人間国宝）、茂山千之丞、
茂山七五三、茂山あきら

シテ方観世流／大槻文蔵、赤松禎英

後見／泉泰孝、地唄／安部信之

囃方／藤田六郎兵衛、大倉源次郎、他



新作のスーパー狂言の豪華な出演者から自然環境破壊に対する問題点を指摘された。